

〈鳩山首相の辞任表明〉

ご町内のみなさん。日本共産党です。これより日本共産党の政策・主張についてお話しさせていただきます。ご協力よろしくお願い致します。

みなさん。ニュースでご存じのとおり、民主党の鳩山首相が二日、辞任を表明しました。これは国民の期待に背き、公約を裏切った政治が、国民の怒りによって追いつめられた結果にほかなりません。

鳩山内閣は、沖縄・普天間基地問題について、「国外、最低でも県外」という公約を踏みにじり、結局、名護市・辺野古(へのこ)の美しい海を埋め立てて新しい基地をつくるという方針を押し付けようとしています。しかもこの方針は、鹿児島県の徳之島と本土にも訓練を分散するというもので、自民政権時代よりもさらに悪いものとなりました。

それから、「政治とカネ」の問題でも、鳩山首相、小沢幹事長の問題など数々の疑惑が噴き出したにもかかわらず、いつさいこれにはおかわりを続け、国民への説明責任を果たしてきませんでした。

暮らしの問題ではどうでしょう。鳩山首相は「人の命を大切にす政治」を行ってきたかのように言っていますが、後期高齢者医療制度の廃止という公約を投げ捨て、四年後まで先送りしたのは誰でしょうか。

「年越し派遣村」で社会的な問題となった労働者派遣法の問題でも、政府が提案した法案は、改正といえながら、「抜け穴」だらけのもので、使い捨て労働を温存するものとなっています。

しかしみなさん。これはなにも鳩山首相個人だけの問題ではありません。普天間基地問題でも「政治とカネ」の問題でも、首相が辞めれば決着するという問題ではありません。民主党政権の共同責任が問われている問題ばかりです。

その責任への反省がないまま、首相の顔だけを替えたとしても、国民の信頼は決して得られないと考えます。

みなさん。なぜ鳩山政権はここまで転落したのでしょうか。鳩山政権が混迷を続け、とうとう政権を投げだした背景には、「アメリカと財界にはモノが言えない」という政治の異常なゆがみがあるからです。

来る参議院選挙では、まさにこうした政治の転換こそが求められています。日本共産党は、アメリカに対しても、財界に対しても、相手も否定できない事実と道理をもって、国民の立場で堂々とモノを言い、政治を動かすために行動してきた政党です。

沖縄・普天間基地問題についても、**アメリカ政府に対して解決方法は基地の無条件撤去しかない**と伝えてきた政党です。こういう政党が伸びてこそ、**日本の政治の希望ある明日が開かれる**のではないのでしょうか。比例代表では日本共産党、この埼玉選挙区では伊藤岳が県民の願いと要求を受けとめてがんばっています。

どうかみなさんのご支援、ご協力を**日本共産党と伊藤岳にお願い申し上げます**。ご当地でのお訴えとさせていただきます。ご協力ありがとうございます。